

こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO
NEWS

2006・6・15 No.172 発行／(こどもの城)広報部 ☎03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1

レンズをとおすと、ふしぎなことが起こる。平行な線も、おおぎを開いたように広がって見えることがある。スレート板のみぞが、地面から空に向かって元気よく広がっている。同じように空に向かってのびているトクサだが、よく見るとおもしろいにおもしろいところを向いている。ちょっとした違いが、それぞれに自分の主張をきわだたせる。

トクサの表面は、つややかに光って生気にあふれている。スレート板はざらざらとした感じでしっとりしている。目で見る写真なのに、手でさわったときの感覚も伝わってくる。

(写真:中根静男/文:たかべ としき)



ふれあいをおし、体験的に幼児を理解する

【こどもの城】では、1985年の開館当初から3～5歳児を対象に「幼児グループ」「保育クラブ」という保育プログラムがあり、たくさん子どもたちが育っていきました。その後も、子どもたちはおりにふれて(こどもの城)の活動に参加したり、遊びに来てくれたりしています。保育研究開発部では、1992年(平成4年)から幼児グループを修了した小学5年生～中学3年生を対象にした「小・中学生保育体験ボランティア」を夏休み特別期間に行っています。



ボランティア活動のなかで、たくさんの「きづき」

一日の保育活動の最後に、ボランティアの小・中学生は一人ひとり、その日の感想を子どもたちの前で話します。そして、さよならのあいさつ。そのあとで、保育スタッフとその日の活動をふりかえります。小・中学生には「だれと何して遊びましたか?」「おもしろかったこと、うれしかったことは?」「困ったことや気になったことは?」など、活動記録を書いてもらいます。言葉(文字)として記録することで、小・中学生が体験したことを、もう一度見つめ直してもらうのです。

幼児との接し方が分からなかった小6の女子は、「自分の3～5歳の時を思い出して接するといくと分かりました。ボランティアを終えて、いろいろ学びました」と感想を記しています。たくさんの「きづき」もあります。保育部門としては、夏休み期間中に2日から数日間活動ができるように調整。(こどもの城)の幼児グループの修了者を中心に、活動人数は1日に2～5人程度までとして、毎年30人弱を受け入れています。

数年前の自分を思い出しながら……

「小・中学生保育体験ボランティア」の活動のねらいは2つ。ボランティアの小・中学生にとっても、保育プログラムに参加している幼児にとっても、年齢の離れた人とふれあう場所になること、そして小・中学生は数年前の自分のすがたを思い出しながら、幼児について体験的に理解することです。

小・中学生には、幼児の身の回りの世話をしたり、遊び相手になってもらいます。一人っ子も多く、小さい子どもと接する機会も少ないので、とまどいも多いようです。

幼児が来る30分前に集まり、保育担当者から幼児のようす、どのように接すればよいかなどの説明を受けます。幼児が保育室に入ってくる時には、入り口で「おはようございます」。はじめのうちは、きんちょうしていますが、朝の説明を思い出しながら小さな子どもたちの遊び相手をし、身の回りの世話をします。

夏なので、天気がよければプールで水遊び。着がえを手伝い、プールで遊びの相手をします。給食の時間には給食をテーブルに並べ、飲み物を配る手伝い。「給食を並べているときに、ありがとと言われてうれしかった」(中1・女)、「空いている席をみつけて「ここいい?」と聞いたら、いろんなところから「いいよ!」と言ってもらってうれしかった」(中3・女)——幼児に感謝されたり、したわれたりすると、お兄さんお姉さんとしての自覚と自信が生まれてくるようです。



幼児が認めてくれることが、喜び、自信に

小・中学生保育体験ボランティアが始まったきっかけは、幼児グループの第1期修了者が小学5年生になったときに開いた同窓会。持ち寄ったものを交換して、楽しい集まりでも開こうと、子どもたち自身の手で企画し、連絡、案内状の発送を行いました。

「また、(こどもの城)に遊びに来たい、という子どもたちの声もありました。同窓会開催にこぎつけた子どもたちの「仕事ぶり」から、ただ遊びにくるだけではなく、活動する場を作れないかと考えました」と保育研究開発部の担当者。学校でのボランティア活動やボランティア学習が注目を集めていること、一人っ子が多く小さい子とふれあう機会が少ないこと、子どもたちがどのように育っているのか知りたかったことなどから、保育の場に小・中学生の保育体験ボランティアを受け入れるプログラムが生まれました。

「小学生を受け入れているケースは少ないかもしれませんが、幼児グループ修了者を中心としているので、保育の場になじみがあるという利点もあります。小・中学生は自分の過去をふりかえりながら、幼児にやさしく教えたりすることができます。世話をするなかで、幼児にできないことは私ができる、知らないことを知っているというように、自分の成長した姿を確かめることができることが、小・中学生が生活する上での自信につながっているようです」と担当者。

「おねえちゃんと呼んでもらえたことがうれしかった」(小6・女)、「全員の子も手がつかないで言ってくれたこと」(小5・女)、「おととい来た子が覚えてくれた」(中3・女)、「困っているときに、助けを求めてくれたこと」(中3・女)、「せんせいと呼ばれてみようにうれしかった」(中2・男)——幼児が自分を認めてくれていることをすなおに喜び、自信としていることがうかがわれます。



一日の活動の最後に活動記録を作成
※左の写真は、幼児とふれあう小・中学生保育体験ボランティア

幼児にとっても貴重な体験

保育担当者の話：保育プログラムに参加している2～5歳児にとっても小・中学生ボランティアの存在は大きいものがあります。遊び方も話方も、まわりの大人(親や保育スタッフ)に比べて、身近に感じるものがたくさんあるからではないでしょうか。自分の近い将来の姿を、「あこがれ」のお兄さん、お姉さんのなかに見つけるのかもしれない。

めざせ5つ☆シェフ〜クッキングへの道〜



「こどもの城アドベンチャー」の新シリーズ「めざせ5つ☆シェフ」が4月からスタート。5月20日には第1号の「達人」も誕生、お店を出店しました。次回は、6月24日、7月8日。

身近な素材でおもちゃを作って、みんなで遊ぶ「つくってあそぼう」。ひっかけて遊ぶ「ファンキー パンキー 大サーカス」は、7月16日が最終回。9月からは新シリーズが始まります。



走れ! キャッスルトレイン

Nゲージの鉄道模型を走らせて楽しむ「走れ! キャッスルトレイン」。小さい子どもたちは、広いスペースに自由にプラレールをレイアウトして楽しみました。次回は、秋に開催する予定。

親子で楽しむ「ファミリープレイタイム」。5月28日には、親子でお店屋さんを作る「マクロー商店街 開店」を行いました。次回は、6月25日に「おやこで運だめし対決!」。



ヒトをテーマに

「ヒトをテーマに」



天の川、流れ星をイメージした造形

7月7日の「七夕」にちなんで、造形スタジオでは6月20日～7月7日に「こども歳時記〜七夕」が行われます。親子プログラムは頭にかぶることができる「ミルキーヘア」。6月24、25日、7月1、2日の土・日曜日にはクリエイティブコーナー(小2～)で「七夕シューティングスター」を作ります。

たんざくに願いをこめてささ竹かざり

プレイホールでは、大きなささ竹に願いごとを書いたたんざくをかざる「天までとどけねがごと」。「元気で過ごせますように」「サッカー選手になれますように」など、おもしろい願いを天にとどけます。7月1、2日(11～4時)、7月4～7日(1～4時)。

きょうもおいしく
いただきます
ま〜す!

児童福祉施設給食用
スキムミルク

スキムミルクってなあに?
栄養価が見直されるスキムミルク

スキムミルク(脱脂粉乳)は、牛乳から乳脂肪(バター)を取り除いてつくります。スキムミルクの大きな特徴は、乳脂肪がきわめて少なく、低脂肪、低エネルギーであることから、飲用にも料理にも、さまざまな菓子作りにも幅広く活用していただけます。さらに、良質なたんぱく質、カルシウム、ビタミンB2など、成長や健康に欠かせない栄養素がたくさん含まれているのも特徴です。

スキムミルクは、動物性脂肪をほとんど含んでいないので、生活習慣病予防に役立つ健康食品として高く評価されています。大人だけでなく子どもにも生活習慣病が増えている今こそ、低脂肪・低エネルギーのスキムミルクをじょうずに給食に取り入れ、子どもたちの健康づくりに役立ててください。

お問い合わせは TEL 03-3591-3245
財団法人 児童育成協会 児童給食事業部
〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-21 FAX 03-3595-2216
児童給食事業部では、ニュージーランドの厳選された新鮮な牛乳から作った「スキムミルク」を無税で輸入し、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。

月猫えほん音楽会 2006

小学生の親子をご招待 7月21～23日 青山円形劇場

絵本×ジャズ=コドモオトナもめっちゃ楽しいシアターライブ「月猫えほん音楽会2006」が7月21～23日に青山円形劇場で開かれます。



「猫道」を通して、秘密の集会場に猫たちが集まってきました。フェイス・ペインティング(開演1時間前から無料サービス。希望者のみ)で猫に変身した「家族猫(観客)」のみさんです。

公演日時 7月21日:4時/22・23日:11時と3時
会場 青山円形劇場
出演 ジャズ猫(ピアノ):佐山雅弘/白猫(進行):波多雅子/マイム猫(パントマイム):本多愛也/読み猫(朗読):能祖将夫

こどもの城マタニティ・コンサート

妊婦(5～9か月)とその家族をご招待

これからお母さんになる人たちに心地よい音楽を聞いてリラックスしてもらおうと、「第21回こどもの城マタニティ・コンサート～宮本安子マリンバの響き・ハートの鼓動～」を7月2日(3時開演)に青山円形劇場で開催します。

このユニークなコンサートに、妊娠5～9か月の妊婦とその家族をご招待します。参加を希望される人は、下記の要領でご応募ください。

こどもの城となかまたち

お母さん、お父さんの体の上でクルリ
《動くこどもの城》の派遣を受け付け中
城の遊びのプログラムをより多くの人に体験してもらうと同時に、児童厚生員などにプログラム作り、運営の経験を伝える活動です。

自然を感じる「ファミリーアドベンチャー」

8月6日に多摩川の支流・秋川で川遊び
7月5日正午から先着順に受け付け
自然という大きなおもちゃ箱の中で、家族で「プチ・アドベンチャー」を楽しむ「ファミリーアドベンチャー」。

9月開講の講座受講生募集

7月6日10時から受け付け
募集コースなど、詳しくは講座・クラブ受付【03-3797-5666】にお問い合わせください。

《動くこどもの城》の派遣を受け付け中
城の遊びのプログラムをより多くの人に体験してもらうと同時に、児童厚生員などにプログラム作り、運営の経験を伝える活動です。

自然を感じる「ファミリーアドベンチャー」

8月6日に多摩川の支流・秋川で川遊び
7月5日正午から先着順に受け付け
自然という大きなおもちゃ箱の中で、家族で「プチ・アドベンチャー」。

9月開講の講座受講生募集

7月6日10時から受け付け
募集コースなど、詳しくは講座・クラブ受付【03-3797-5666】にお問い合わせください。

人形を作り、その人形で劇遊びを楽しむ「みんなで遊ぼう パペットランド」などさまざまなプログラムがあります。



「親子ふれあい体操“1・2・3”」(埼玉県蓮田市立児童センター)

(東京都あきる野市)
対象 当日4歳以上の子どもとその家族(含む祖父母) 15家族
参加費 子ども1,000円、大人2,000円



おもしろビデオ館
7月9日
こどもの城映画劇場 カナダのアニメーション
11時35分、1時35分、2時35分、3時35分

インフォメーション INFORMATION
青山劇場
●押尾コータロー 六弦六夜～All Alone at 青山劇場

5Days Circle of Love+Life
6月26～30日 5,500円
●第21回こどもの城マタニティ・コンサート
宮本安子 マリンバの響き・ハートの鼓動

Bスタジオの催し
6月18日
映画やビデオのルーツ “動いて見えるおもちゃ(視聴がん具)”

「こどもの城」2006夏休み短期コース 受講生募集

【こどもの城】の夏休み特別期間中(7月21日～8月31日)に、じっくり時間をかけて取り組むワークショップや講習会が開かれます。

Table with columns: Course Name, Content/Fee, Target/Audience, Date. Includes courses like '夏休みこども集中水泳講習会', 'ガンバ2006', 'パソコン教室スペシャル'.

「こどもの城」2006夏休み短期コース 受講生募集

Table with columns: Course Name, Content/Fee, Target/Audience, Date. Includes courses like 'カブルーン', '宝箱', '凸凹LAND', '超珍(ちょうちん)スコープ', '映像・科学ワークショップ'.